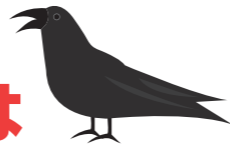
白石消防署七ヶ宿出張所からのお願い

動物駆逐用煙火（連続発射式）の使用には十分に注意しましょう！

動物駆逐用煙火（連続発射式）は、一般で販売されている玩具煙火と異なり、大きな音を発生するため、威力の強い火薬が用いられています。このため、万が一、製品の異常な破裂等が発生した場合には、指や手の一部を欠損したり、飛散物や爆音により重篤な怪我をするおそれがあります。

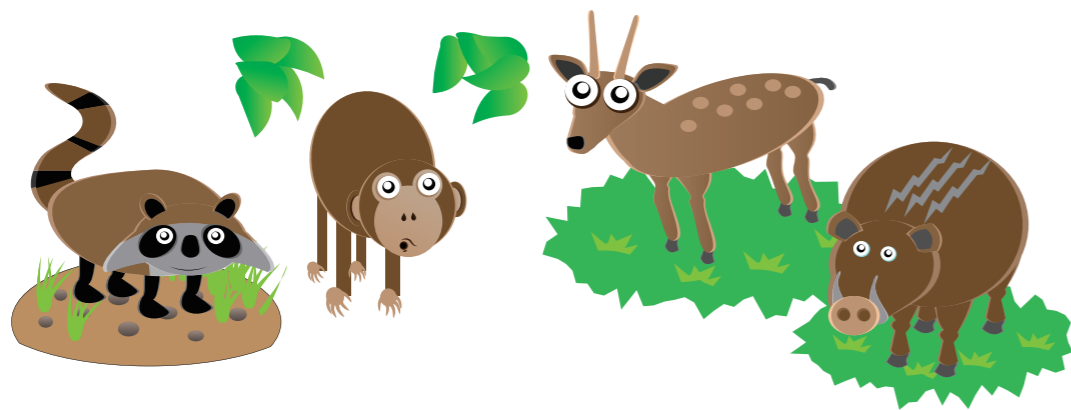
取扱説明書の使用方法を遵守するとともに、下記の注意点を遵守してご使用してください。

1．製品は直接手に持たず、杭などに固定して使用すること。

2．やむを得ず手に持って使用する場合は、当該煙火の販売業者が提供する、専用の保護ホルダーを使用し、以下の点を遵守すること。

⑴専用ホルダー使用時には、ホルダー底面に手が触れない位置で、可能な限りホルダーの下側を持って使用すること。また、ホルダー底面は体に向けず、ホルダーはできる限り体から離して使用すること。

⑵使用する専用ホルダーにおける、変形、さび、ひび割れ等の有無を確認し、異常があるものや、過去に一度でもホルダー内部で製品が破裂等の異常燃焼をしたものは使用しないこと。

⑶専用ホルダーは、万が一、製品が手元で破裂した場合の被害を軽減することはできるが、被害を完全に防止することはできないため、ゴーグル、耳栓、皮手袋などの防護具を併用すること。

※株式会社ライズが販売した動物駆逐用煙火（５連発式）、製品名「駆除雷５発」（２０１２年５月中国製）については、同社が製品の自主回収を行っているため、当該製品をお持ちの方は絶対に使用せず、販売元に連絡すること。（販売元　㈱ライズ連絡先：☎０８６－２９５－１１７９）

●お問い合わせ　白石消防署七ヶ宿出張所（☎３７－２１００）

東北福祉大学のインターンシップが開催されました

８月５日～１１日まで東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科２年須藤のぞみさん、総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科２年佐藤沙耶香さんの２名が参加し七ヶ宿町役場でインターンシップ（就業体験）が行われました。

七ヶ宿町の農業体験プログラムと観光資源活用プログラムを企画提案するテーマで、町内農家や企業、事業者にインタビュー調査を行い七ヶ宿町の農林業と観光の現状を把握、最終日には提案の発表会を行いました。

須藤さんは「味覚、視覚、臭覚、触覚、聴覚の五感から捉える地域資源活プログラムで、七ヶ宿ならではの心潤う体験で農地を守りたい」と発表しました。佐藤さんは、「空き家を食・住・創作・農園などの空間として活用する。花で飾りおもてなしのイメージを演出する」と発表しました。

大学生ならではの今までにない視点で提案をいただいたプログラムは、今後のまちづくりに活かしていきます。

農民そばや芭蕉庵の山田岳彦さんにインタビュー

須藤のぞみさん

佐藤沙耶香さん

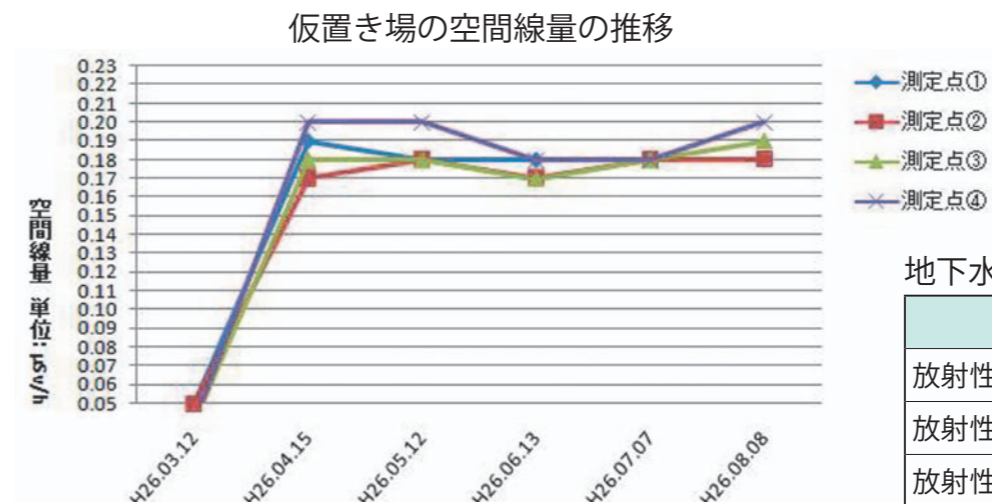
七ヶ宿町放射性物質除去土壌仮置き場の放射能測定について

柏木山放牧場に隣接する仮置き場の測定結果をお知らせします。

平成２６年８月８日に柏木山放牧場の空間放射線量及び地下水放射性物質量を測定した結果、以下のとおりとなりました。

昨年５月から空間線量を測定していますが、追加被ばく量が年間１ｍSvを超えないように管理され仮置き場が安全に保たれていることを表しています。

※仮置き場内の４点を定点とし測定しています。

仮置き場の空間線量の推移

地下水の測定結果　単位：Bq/kg

調査項目	測定値
放射性ヨウ素（I-131）	不検出
放射性セシウム（Cs-134）	不検出
放射性セシウム（Cs-137）	不検出

測定開始時から不検出となっています。

●お問い合わせ　総務課　（☎３７－２１１１　担当：奈良）